



最初にお読みください

AlliedView[®] NMS EE リリースノート

この度は、AlliedView NMS EE（以下、AlliedView NMS）をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

このリリースノートは、AlliedView NMS、AlliedDeviceView、AlliedAdminCentral をご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ソフトウェアバージョン 14.0.2

2 本バージョンで追加された機能

ソフトウェアバージョン R12.2.1 から R14.0.2 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

2.1 サポート機器の追加

本バージョンより、x610 シリーズ・x210 シリーズ・x200 シリーズ・FS900M-PS シリーズ・AT-x600-24Ts-POE をサポートします。製品名とファームウェアバージョンは第 6 章をご覧ください。

2.2 サポート OS の追加

本バージョンより、Windows Server 2003 x64 Edition・Windows Server 2003 R2・Windows Server 2008 R2 x64 Edition・Windows Server 2008 (x64)・Windows Server 2008 R2 をサポートします。

2.3 AlliedDeviceView・AlliedAdminCentral の追加

本バージョンより、新たに 2 つのソフトウェアをサポートします。

- AlliedDeviceView は、AlliedView NMS でサポートしていない弊社製品のシャシビューを開く際に使用します。サポート機種とファームウェアバージョンは、第 7 章をご覧ください。
- AlliedAdminCentral は、AlliedView NMS でサポートしていない弊社製品のコンフィグ設定等を行うツールです。詳細は第 8 章をご覧ください。

2.4 JAVA クライアントの日本語化対応

JAVA クライアント環境にて、GUI が日本語で表示されるようになりました。エラーメッセージ等、一部 GUI が英語で表示される場合があります。予めご了承ください。

2.5 マップ機能の拡張

- VCS 構成の表示方法
VCS を使用している機器を示すノードアイコンを追加しました。
- LAG 構成の表示方法
LAG での接続を示すシンボルを追加しました。また、ポートの接続状態を LAG/VCS マップ上から確認できるようになりました。

3 本バージョンで修正された機能

ソフトウェアバージョン R12.2.1 から R14.0.2 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 3.1 IP Network マップにディスカバリーの監視対象ネットワークが登録されていない状態のまま Node Discovery でノード単位の検出を行うと、Discover Parent Network オプションを有効にしたノードを検出できませんでしたが、これを修正しました。
- 3.2 ノード側の設定を変更したり、管理しているノードを本製品のデータベースから削除したりすると、物理ネットワークマップ上のリンクシンボルや VLAN ネットワークマップが削除できないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.3 AlliedView NMS から CentreCOM 8748SL に対して、VLAN インターフェイス設定を実行することができませんでしたが、これを修正しました。
- 3.4 クライアント上の日付表示が US 表記 (MM/DD/YYYY) となっているため、日付を指定した検索やアクションが行えませんでした。これを修正しました。
- 3.5 LLDP を使用して物理リンクを自動で設定しようとした場合、「デバイスが存在しない」とエラーになり物理リンクが設定できませんでしたが、これを修正しました。
- 3.6 AW+ ファームウェアバージョン 5.4.1 を導入している製品でポートステータスが取得できないためシャシビューでリンクステータスや VLAN 情報が表示されませんでした。これを修正しました。
- 3.7 AlliedView NMS のアンインストールを行った場合に、本来削除されるべき Allied Telesis DB が Windows サービス上に残ってしまいましたが、これを修正しました。
- 3.8 AlliedView NMS のインストール時に「Set ACL 2 final は動作を停止しました。」というポップアップが出力されエラーになってしまいましたが、これを修正しました。
- 3.9 ステータス監視のログのアーカイブにおいて日付範囲を指定すると、ログファイルが 0 bytes になってしまいましたが、これを修正しました。
- 3.10 AlliedView NMS が機器監視に使用するために確立した Telnet セッションを解放しない場合があります。これを修正しました。

4 本バージョンでの制限事項

ソフトウェアバージョン 14.0.2 には、以下の制限事項があります。

4.1 スタートメニューのアイコンについて

Windows のスタートメニューに登録された AlliedView NMS の各項目のアイコンイメージは、Windows 標準のアイコンイメージで表示されます。

4.2 AlliedDeviceView のアンインストールについて

Windows Server 2003 x64 Edition にて AlliedDeviceView をアンインストールすると「Could not find the main class: com.zerog.lax.LAX」とエラーメッセージが表示されることがあります。

4.3 ログインについて

以下のエラーメッセージが表示されログインできなくなる場合があります。

・ Ran out of memory retrieving query results.:nested exception is:org.postgresql.util.PSQLException:Ran out of memory retrieving query results.

上記メッセージが表示された場合は、本事象前のバックアップファイルを使用し、データベースのリストアを行ってください。

4.4 ディスカバリーについて

- Discovery Configurator のネットワークディスカバリータブで指定したネットワークがそのまま IP ネットワークマップに登録されるため、ネットワークを集約してディスカバリーの設定を行うことができません。
- 複数の IP インターフェースを持つノードに対してディスカバリーで検出を行うと、それぞれの応答を別ノードとして認識してしまうことがあります。その場合は重複したノードを削除して、再度ディスカバリーで検出を行ってください。
- ローカルインターフェースを設定しているノードで、ローカルインターフェース以外のアドレスを用いてノードを登録すると LLDP でのリンクの自動検出ができません。ローカルインターフェースを設定しているノードを登録する場合は、ローカルインターフェースのアドレスを使用してください。
- 「ノードインベントリー」の「ネットワーク」メニューから「ディスカバリー開始」を選択してもネットワークの再ディスカバリーが行われません。ネットワークの再ディスカバリーは、「IP ネットワークマップ」の「ネットワーク」メニューから「ディスカバリー開始」を選択してください。
- ディスカバリー設定のノードディスカバリーにて検出対象ノードを 2 つ以上設定した場合に親ネットワーク検出を有効にしても、そのネットワークに対してディスカバリーが行われません。
- IP ネットワークマップにディスカバリーの監視対象ネットワークが登録されていない状態のままノードディスカバリーでノード単位の検出を行うと、Discover Parent Network オプションを有効にしたノードを検出できません。この場合はネットワークディスカバリーを使ってネットワーク単位の検出を行ってください。
- SSHv2 サーバーのみが有効なノードと SSHv1 サーバーのみが有効なノードが混在したネットワークに対してディスカバリーを行うと、SSHv2 サーバーのみが有効なノードについては、検出が完了してもディスカバリー項目が全て OK と表示されないことがあります。この場合は、再度ディスカバリーを実行してください。
- CLI ログイン方式を SSH、SNMP のバージョンを v1 に設定した AW 製品のディスカバリーを行うと、ディスカバリー結果に「LLDP:Failed (SNMP PDU Timed-Out(IP アドレス))」と表示され、メジャーイベントとして登録されてしまいます。
- CentreCOM FS808M では ifPhysAddress.9 の値が未設定のため、ディスカバリー機能の設定で DHCP オプションは使用できません。ディスカバリー機能の監視対象にするためには、機器の IP アドレスを固定設定にしてください。

4.5 ノードの削除について

ノードの削除は、ノードに関連付けている全ての物理リンクを削除した後で行ってください。物理リンクを削除せずにノードを削除すると VLAN マップが削除されない場合があります。

4.6 32 ビットのネットマスクを持つホストアドレスの登録について

32 ビットのネットマスクを持つホストアドレスの登録は「ノードディスカバリー」を使用してください。「ノードの追加」または「ネットワークディスカバリー」を使用して登録を行うと、AlliedView NMS サーバーの再起動後に登録したネットワークが IP ネットワークから削除されてしまいます。

4.7 ネットワークオブジェクトについて

ノードの管理オブジェクトプロパティのテスターを SNMPPING または PING に設定すると、ネットワークインベントリーからネットワークオブジェクトが削除されてしまいます。削除されたネットワークオブジェクトを追加する場合は、テスターを MAX に変更し、ノードを再ディスカバリーしてください。

4.8 MIB について

- MIB ファイルのロード時の MIB 設定タブで MIB に関する設定を行わないでください。MIB に関する設定を行う場合は、MIB ブラウザー設定ウィンドウの MIB 設定タブから設定を行ってください。
- MIB ブラウザーウィンドウにてメニューのヘルプからヘルプを選択してもヘルプファイルが表示されません。
- 本製品の SNMP MIB ブラウザーでは atrsqos.mib は読み込めません。

4.9 ATI ロゴのリンク先について

AlliedView NMS のクライアントアプリケーション上の右上に表示されている ATI ロゴマークをクリックすると、弊社のアメリカ・カナダの Web ページが表示されます。

4.10 認証について

AlliedView NMS 上から認証の設定を行わないでください。

4.11 イベントフィルターの設定保存について

イベントフィルターを保存して、本製品をインストールした別の PC で読み込んでも、アクションの内容が正しく読み込めません。

4.12 イベントログのデータについて

イベントログを時間順でソートしファイルに出力しても、一部データが時間順に並びません。時間順でソートする場合はファイル出力時に CSV 形式で保存し Microsoft Office Excel 等の表計算ソフトウェアを使用してソートを行ってください。

4.13 EPSR について

- AlliedView NMS から EPSR ドメインを作成する場合は「\$」を含む EPSR ドメイン名を設定しないでください。「\$」を含む EPSR ドメイン名を設定すると、エラーメッセージが表示されず、「OK」ボタンをクリックしても次の画面に進みません。
- AlliedView NMS から EPSR ドメインを作成し、EPSR ドメインにデータ VLAN を追加すると VLAN ネットワークマップに EPSR のコントロール VLAN が 2 重に表示される場合があります。このときに関連するノードを全て削除すると、マップ上からアイコンは消えますがマップのフィールドが残ってしまいます。
- AlliedView NMS のネットワークインベントリーの EPSR ドメイン画面で、リンクダウン等によりノードの状態が遷移しても GS シリーズまたは FS シリーズのノード情報が更新されません。

4.14 LLDP マルチデバイスウィザードについて

LLDP 設定ウィンドウでデバイス一覧をソートした後に、デバイスをダブルクリックし「LLDP マルチデバイスウィザード」を開くと、選択したデバイスとは異なるデバイスのウィザードが開いてしまいます。

4.15 LAG/VCS マップについて

AW 製品の LAG インターフェースを LAG/VCS マップで表示すると一部デバイスにおいて正しい表示が行われません。本問題は AW 製品により表示される内容が異なり、製品毎に表示される内容は以下となっております。

- 87 シリーズの場合は LAG インターフェース名に "Not Configured" と表示され、常に Major 状態で表示されます。
- GS シリーズ、FS シリーズの場合は LAG インターフェース名に "???" と表示されます。

4.16 LAG インターフェースの手動追加について

LAG インターフェースをリンクオペレーションから手動で追加する場合に、デバイスの IP アドレスの順番により LAG/VCS マップで表示される各デバイスの LAG インターフェースの情報が 2 つのデバイス間で入れ替わって表示される場合があります。

LAG インターフェースを「リンクオペレーション」から手動で追加する場合は、「デバイスから」の項目に IP アドレスが大きいデバイスを選択し、「デバイスへ」の項目に IP アドレスが小さいデバイスを指定してください。

4.17 ボーリングのステータスについて

管理オブジェクトプロパティで「status related properties」→「障害回数」を選択しても動作しません。

4.18 トラップパーサーのリストについて

トラップパーサー設定画面でパーサーリストが表示されないことがあります。その場合は設定画面を開き直してください。

4.19 イベントパーサーのリストについて

イベントパーサー設定画面でパーサーリストが表示されないことがあります。その場合は設定画面を開き直してください。

4.20 ボーリングについて

ノードの管理オブジェクトプロパティにおいて、テスターを MAX から SNMPPING または PING に設定変更した際に、ノードのステータスポールの初期値が False であるにも関わらずボーリング開始してしまいます。ステータスポールの設定変更で正しい状態に戻ります。

4.21 LLDP について

AlliedView NMS 上で LLDP を全て無効にしても、コンフィグレーション上に「lldp run」が残ってしまいます。本設定を無効にする場合は Telnet 等でデバイスにログインし、「no lldp run」を実行してください。

4.22 データ収集について

収集済みデータのグラフをプロットするとデータの範囲設定が現在の日付から 1 ヶ月前の日付となり、表示されるグラフも 1 ヶ月前のデータが表示されます。表示させたい期間の日付に変更し「プロット」ボタンをクリックしてください。

4.23 SNMP について

オペレーションメニューの SNMP エージェント機能にて、機器の SNMP 設定を無効にすると、再度有効にできません。

4.24 シャーシビューについて

CentreCOM 8724SLv2, 8724SL, 8748SL に GBIC モジュールを挿入してもシャーシビュー上に表示されません。

4.25 VLAN 設定について

- AlliedView NMS から VLAN を作成した際に VLAN 名の先頭または末尾にスペースが含まれると入力した VLAN ID の値に関わらず、VLAN ID が 0 で作成されてしまいます。
- VLAN ネットワークマップにノードが追加されると、異なる VLAN であるにも関わらずマップに VLAN1 のネットワークが表示されることがあります。
- VLAN マネージャーダイアログにて、リンクプロファイルのインポート / エクスポートタブの「View Profile」ボタン、および動作モニタータブの「Refresh all」ボタンが表示されません。

4.26 VLAN ネットワークマップについて

VLAN ネットワークマップから表示するオブジェクトプロパティウィンドウの管理オブジェクトプロパティタブにおいて「次へ」ボタンを押しても、次のダイアログが表示されません。管理オブジェクトプロパティで設定を表示させてください。

4.27 AW+ 製品について

- AW+ Ver.5.3.3 が動作している VCS 構成ノードのファームウェアのバージョンアップを行う場合は、AlliedView NMS 上で、ファームウェアを筐体に保存した後に、Telnet 等で筐体にログインし、起動用ファームウェアの設定の再起動を行ってください。
- AlliedView NMS から AW+ 製品のタグ付きポートに VLAN を追加しても設定変更後のランニングコンフィグがスタートアップコンフィグに保存されません。

4.28 AW 製品について

- AlliedView NMS から AW 製品のファームウェアのバージョンダウンを行う際に、バージョンダウン先がパッチファイルが必要としないファームウェアの場合は、ファームウェアのバージョンダウンは正しく行われますが、「Patch file cannot be reverted」のエラーメッセージが表示される場合があります。
- ポート管理機能から AW 製品のポート設定を変更すると、設定は反映されますがコンフィグが保存されません。Telnet 等でデバイスにログインし、コンフィグを保存してください。

4.29 Switch Blade x908、x900 シリーズについて

- SBx908 のシンボルは、スタックしていなくてもスタック状態のシンボルで表示されず。
- SFP を搭載している SBx908 または x900 シリーズのポートの Ether-like ポート管理において、「通信モードの設定」のプルダウンメニューで SFP がサポートしていない通信モードが表示されますが選択しないでください。

4.30 x200 シリーズ、x210 シリーズについて

- オペレーションメニューから x200 シリーズと x210 シリーズに対して「デバイスの参照」を行っても Web GUI の画面が表示されません。
- x210 シリーズで収集した VLAN1(デフォルト VLAN)に関する情報は、グラフのプロットができません。

4.31 Switch Blade x3100 について

- SBx3100 のラインカードをホットスワップで取り外しても、SBx3100 のシャシビューで表示されるラインカードの状態を示す CFC の SBx STATUS LED が橙色とならず、グレーで表示されます。
- Ether-like ポート管理から SBx3100 に搭載されたラインカードのポートスピードを 10M へ変更することができません。
- AlliedView NMS から SBx3100 のファームウェアバージョンダウンを行うことができません。
- AlliedView NMS から SBx3100 ラインカードのファームウェアバージョンを R16 へ更新すると、ラインカードの種別ごとにファームウェアの更新は行われず、全てのラインカードのファームウェアバージョンが R16 へ更新されてしまいます。

- SBx3100 シャーシビューの「VLAN インターフェースの設定」を使用して Untag ポートを Tag ポートへ Tag ポートを Untag ポートへ設定変更すると「There is already an INBAND management interface: 255.1」のエラーメッセージが表示される場合がありますが設定は正しく行われます。
- SBx3100 シャーシビューで以下の情報は正しく表示されません。
 - ・ CFC カードのマネージメントポートの L/A LED 点灯状態
 - ・ AT-SBx31GT24 ラインカードの L/A LED の表示色
 - ・ ファントレイの実装状態
 - ・ AT-SBx31GS24 ラインカードの SFP モジュールスロット LED の表示色
 - ・ CFC カードの SBx STATUS LED 点灯状態
 - ・ AT-SBx31CFC カードの SYS STATUS LED 点灯状態

5 未サポート機能

以下の項目はサポート対象外ですので、予めご了承ください。

5.1 ソフトウェアダウングレードについて

AlliedView NMS ではソフトウェアのダウングレードはサポート対象外です。ダウングレードが必要な場合は、再インストールし必要に応じて任意のバージョンへアップグレードしてください。

5.2 設定ファイルのリストアについて

設定ファイルをバックアップ時のバージョン以外の AlliedView NMS へリストアすることはサポート対象外です。ソフトウェアのアップグレード前後には AlliedView NMS の設定ファイルのバックアップを推奨します。

5.3 SNMPv3 について

SNMPv3 はサポート対象外です。

5.4 Windows ドメイン環境下での使用について

本製品は Windows ドメインに所属する PC もしくは、Windows ドメインコントローラーでの使用はサポート対象外です。

5.5 ディスカバリーについて

Discovery Configurator のローカルネットワークのディスカバリーはサポート対象外です。

5.6 AW+ 製品について

AlliedView NMS からの認証設定はサポート対象外です。

5.7 英文ガイドの項目について

AlliedView Network Management System 14.0 (SP0) Administration Guide Issue 1 (英文ガイド)に記載されている機能のうち、以下の項目はサポート対象外です。

章	備考
3.2 Discovery Configurator(Service Provider)	
3.6 File Keys to Identify Downloadable Files	SwitchBlade x3112 以外はサポート対象外
3.11 Accessing the NMS Database	
4.8 NMS RADIUS Client Support	
5.5 Card Management	SwitchBlade x3112 以外はサポート対象外
5.6 Port Management(iMAP Devices)	
5.7 Port Management(Non iMAP Devices)	認証ポートの設定はサポート対象外
5.11 Customer Cutover	
6.10 Profile Management	
6.11 Quality of Service (QoS) Network Management	
6.12 Troubleshooting Policies and Profile Management	
6.15 Customer Management	
6.16 Circuit Emulation Service	
6.17 NTE8 Dual Circuit Provisioning	
6.18 Upstream Control Protocol (UPC) Display	
6.21 Diagnostic Audit	Network VLAN の監査機能以外はサポート対象外
7. Provisioning iMG/RG	
10. Using the HTML Interface	
11. Built-in Browsers - SNMP MIB and CWMP	CWMP はサポート対象外
12. Northbound Interface	
13.2 dhcpd Files	

6 AlliedView NMS サポート機種とファームウェアバージョン

AlliedView NMS では、以下に示すハードウェアおよび対応するファームウェアバージョンをサポートします。

- 基本パッケージで管理できる機器は下記のとおりです。

機種名	ファームウェアバージョン
AT-SBx908	5.4.2-2.5 以上
AT-x900-24XT	5.4.2-2.5 以上
AT-x900-24XS	5.4.2-2.5 以上
AT-x900-12XT/S	5.4.2-2.5 以上
AW+ XEM モジュール (AT-XEM-12T、AT-XEM-1XP、AT-XEM-2XP、AT-XEM-2XS、AT-XEM-2XT、AT-XEM-STK)	-
AT-x610-24Ts/X	5.4.2-1.4 以上
AT-x610-24Ts/X-POE+	5.4.2-1.4 以上
AT-x610-24SPs/X	5.4.2-1.4 以上
AT-x610-48Ts/X	5.4.2-1.4 以上
AT-x610-48Ts/X-POE+	5.4.2-1.4 以上
AT-x600-48Ts	5.4.2-0.2 以上
AT-x600-48Ts/XP	5.4.2-0.2 以上
AT-x600-24Ts	5.4.2-0.2 以上
AT-x600-24Ts-POE	5.4.2-0.2 以上
AT-x600-24Ts/XP	5.4.2-0.2 以上
AT-x210-9GT	5.3.4A-3.6 以上
AT-x210-16GT	5.3.4A-3.6 以上
AT-x210-24GT	5.3.4A-3.6 以上
AT-x200-GE-28T	5.3.4A-3.6 以上
AT-x200-GE-52T	5.3.4A-3.6 以上
AT-SBx3112	16.0.1 以上
ラインカード (AT-SBx31CFC、AT-SBx31GT24、AT-SBx31GP24、AT-SBx31GS24、AT-SBx31XS6、AT-SBx31XZ4、AT-SBx3161-70、AT-SBx3165-70、AT-SBx31FAN)	
CentreCOM 8748XL	2.7.6-06 以上
CentreCOM 8748SL	2.9.2-07 以上
CentreCOM 8724SL V2	2.9.2-07 以上
CentreCOM 8724SL	2.9.2-07 以上
CentreCOM 8424XL	2.7.9-02 以上
CentreCOM 8424TX	2.7.9-02 以上
CentreCOM 8324XL(RoHS 指令対応版 / 未対応版)	2.7.9-02 以上
CentreCOM 8316XL(RoHS 指令対応版 / 未対応版)	2.7.9-02 以上
AW(L2) 拡張モジュール (AT-A50、AT-A51、AT-A53)	-
CentreCOM 9048XL	2.3.3-B04 以上
CentreCOM GS924M V2	2.3.3-B03 以上
CentreCOM GS916M V2	2.3.3-B03 以上
CentreCOM GS908M V2	2.3.3-B03 以上
CentreCOM GS924M	1.6.17-B03 以上
CentreCOM GS916M	1.6.17-B03 以上
CentreCOM GS908M	1.6.17-B03 以上
CentreCOM FS926M-PS	1.6.14-B02 以上

CentreCOM FS917M-PS	1.6.14-B02 以上
CentreCOM FS909M-PS	1.6.14-B02 以上
CentreCOM FS926M	1.6.14-B02 以上
CentreCOM FS917M	1.6.14-B02 以上
CentreCOM FS909M	1.6.14-B02 以上
CentreCOM FS808M	1.0.3 B01 以上
CentreCOM AR570S	2.9.2-09 以上
CentreCOM AR560S	2.9.2-09 以上
CentreCOM AR550S	2.9.2-09 以上
CentreCOM AR415S	2.9.2-09 以上
AW(Router) 拡張モジュール (AT-AR020、AT-AR021 v3)	-
CentreCOM MC2700-10 (対応モジュール: AT-MC230)	1.2.1-B01 以上

- JN ライセンス (追加ライセンス) で管理できる機器は下記のとおりです。

機種名	ファームウェアバージョン
NetScreen-50	5.4.0r10.0 以上
NetScreen-208	5.4.0r6.0 以上
SSG 550M	6.1.0r6.0 以上

7 AlliedDeviceView について

AlliedView NMS 上でデバイスのシャシビューを選択した際に、一部機種は AlliedDeviceView のパネルウィンドウが開きます。AlliedDeviceView がインストールされていない場合は、AlliedDeviceView のインストーラーが立ち上がりますので、AlliedView NMS EE インストールガイドの手順に従いインストールを行ってください。

AlliedDeviceView をご使用になる前に、ドキュメントをよくお読みください。リリースノートは、CentreNET SwimView リリースノートの Ver.3.0 pl 14 以前の項目をご覧ください。なお、AlliedDeviceView と CentreNET SwimView のドキュメントは同じですので、「SwimView」の表記を「AlliedDeviceView」に置き換えてお読みください。

AlliedDeviceView のドキュメントは、Windows のプログラムから「AlliedDeviceViewV3」→「AlliedDeviceView ドキュメント」を選択してください。HTML 形式のドキュメントが開きます。

AlliedDeviceView のサポート機種とファームウェアバージョンは以下とおりです。AlliedView NMS でサポートしている機種は、AlliedView NMS をご使用ください。

機種名	ファームウェアバージョン	機種名	ファームウェアバージョン
SwitchBlade 5400S シリーズ SB-5402S, SB-5404S (対応モジュール: SB-BCU-C5MS, SB-BCU-S5MS, SB-BSU-C2, SB-BSU-S2, SB-NF1G-6G, SB-NF100-48TA, SB-NF1G-32S, SB-NF1G-48T, SB-NFMX-44, SB-NFMX-34, SB-PS-CAC, SB-FAN-B)	9.1 以上	SwitchBlade 6600S: AX-6600-S08 (対応モジュール: AX-F6600-41B, AX-F6700-713T, AX-F6700-713S, AX-F6700-722F, AX-F6300-1A11)	11.1 以上

SwitchBlade 6700S : AX-6700-S08 (対応モジュール: AX-F6700-2S1, AX-F6700-2S11, AX-F6700-3LB, AX-F6700-713T, AX-F6700-713S, AX-F6700-722F, AX-F6300-1A11)	11.1 以上	SwitchBlade 7800S シリーズ SB-7804S, SB-7808S (対応モジュール: SB-BCU-SH8MS, SB-BCU-SM8MS, SB-PSU-12, SB-PSU-22, SB-NE1GSHP-4S, SB-NE1G-12TA, SB-S12-1G48T, SB-NE1G-6GA, SB-NE1G-12SA, SB-S12-1G48S, SB-NE10G-1RX, SB-POW-HMACE, SB-FAN-A)	9.1 以上
CentreCOM GS908M V2-4PS	2.2.1 以上	CentreCOM FS816M	1.0.0 B04 以上
CentreCOM IA810M	2.3.2 B04 以上	CentreCOM ARX640S	5.0.0 B06
CentreCOM AR260S V2	3.0.0 以上	CentreCOM AR260S	1.1.26a.410 以上
CentreCOM MC2602	1.1.0 以上	CentreCOM MC2601	1.1.0 以上
CentreCOM WD1002	1.2.0 B01 以上	CentreCOM WD1001	1.2.0 B01 以上
CentreCOM 1300 シリーズ (対応モジュール: AT-13A1, AT-13A3, AT-13A5, AT-13A6, AT-13A7)	4.1.3J00 以上	AT-TQ2403	2.1.4 以上
AT-TQ2450	1.0.0 以上	NetScreen-5XT (5XT Elite を含む)	4.0.0r1 以上
NetScreen-5GT (5GT Plus を含む)	4.0.0 以上	NetScreen-25	3.1.0 以上
NetScreen-204	3.1.0 以上	NetScreen-500	4.0.1r1 以上
NetScreen-ISG 1000	5.3.0r3 以上	SSG 5-SB	6.1.0r5.0 以上
SSG 5-SH-BT	6.0.0r3.0 以上	SSG 140	6.1.0r4.0 以上
SSG 320M	6.0.0r3.0 以上	SSG 350M	6.0.0r3.0 以上
SA700	6.4 以上	SA2500	6.4 以上
SA4500	6.4 以上	SA6500	6.4 以上

8 AlliedAdminCentral について

AlliedAdminCentral は AlliedView NMS とは別に動作します。AlliedView NMS でサポートしていない弊社ネットワーク機器のファームウェアや設定ファイルの更新（機器への転送）、設定ファイルのバックアップ（機器からの転送）、情報の収集などを行いたい場合にご使用ください。

AlliedAdminCentral のサポート機種^{*1}とファームウェアバージョンは、弊社 Web ページ掲載の CentreNET[®] SwimAdminCentral Ver.2.1 pl 1 のリリースノートをお読みください。

AlliedAdminCentral のドキュメントは、弊社 Web ページまたは Windows のプログラムから「AlliedAdminCentral」→「AlliedAdminCentral ドキュメント」を選択してください。

なお、AlliedAdminCentral と CentreNET SwimAdminCentral のドキュメントは同じですので、「SwimAdminCentral」の表記を「AlliedAdminCentral」に置き換えてお読みください

弊社 Web ページ：<http://www.allied-teleasis.co.jp/support/list/nms/sac/manual.html>

*1 AlliedAdminCentral のサポート機種は、SwimAdminCentral Ver.2.1 pl 1 のリリースノートに記載されている製品のみとなります。その他弊社製品や今後新たに発売される製品への対応はありませんので、予めご了承ください。

9 AlliedView NMS 最新マニュアルについて

最新のマニュアル「AlliedView NMS EE インストールガイド (613-001712 Rev.A)」、
「AlliedView NMS EE ユーザーガイド (613-001713 Rev.A)」、「AlliedView Network
Management System 14.0 (SP0) Administration Guide Issue 1 (英文)」は、弊社 Web
ページに掲載されています。

本リリースノートは、これらの最新マニュアルに対応した内容になっていますので、お手持ち
のマニュアルが上記のものでない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

<http://www.allied-tesesis.co.jp/>